

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てあてるの芽 豊橋		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【多機能】 多機能なので異年齢での関わりが多い。	・年上の子が年下の子の面倒を見れるような空間 作りを行っている。 ・集団活動に参加する機会を多く設けている。	・無理のない範囲で活動に参加する事で、異年齢での関わりが増えていくように療育に努めていく。
2	【活動】 戸外活動を多く取り入れている。	・戸外に出る事を多く取り入れる事で、公共でのマナーやルールを学び、様々な経験が出来るように取り組んでいる。 ・費用が掛からない所になるべくお出かけして、保護者の負担がないように努めている。	・その時の子供の状況に応じて行き先等を決めて、無理のないように活動に参加出来るようにしていく。
3	【保護者】 LINEやアプリを使用する事で情報共有や諸連絡をスムーズに且つ密に出来ている。	・受信が分かるように通知音があった際は、すぐに対応し対応に漏れないように全員が意識している。	・個人情報保護の意識をしっかりと持ち、今後もアプリ等を有効活用しながらより良い療育に努めたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・高学年のレベルにあった支援よりも低学年向けになる事が多い。	・低学年の支援をしていると高学年の子のレベルを下げる事が多いので、バランスの折り合いをつける事が難しい。	・全体のバランスをチームで検討していき、どこまでを良しとするの改めて検討していくように努めていく。
2	・保護者会が開催出来ていない。	・仕事や育児をされている家庭が多く、時間の調整が困難になっている。 ・保護者が必要性を感じていない。	・早い段階から予定を提示し調整が立てやすいように努めていく。 ・参加のしやすいような雰囲気作りに努め、保護者会の必要性を発信するように努めていく。
3	・地域交流が出来ていない。	・地域での参加が難しい子もいたり、保護者や地域の人が必要を感じているか微妙なため。	・無理のない範囲内で、出かけ先で交流に繋げていきたい。また、参加が出来そうな地域のイベントや地域交流のメリットが発信できるように努めていく。